



# 東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

第4週(1月19日～1月25日)のトピックス

## 流行注意報発出中

- ・定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数は5,779人、定点当たり13.83人  
(昨年同時期 定点当たり6.60人)
- ・インフルエンザ様疾患による集団発生事例の報告数は193件
- ・全国における定点医療機関からの患者報告数は63,326人、定点当たり16.64人

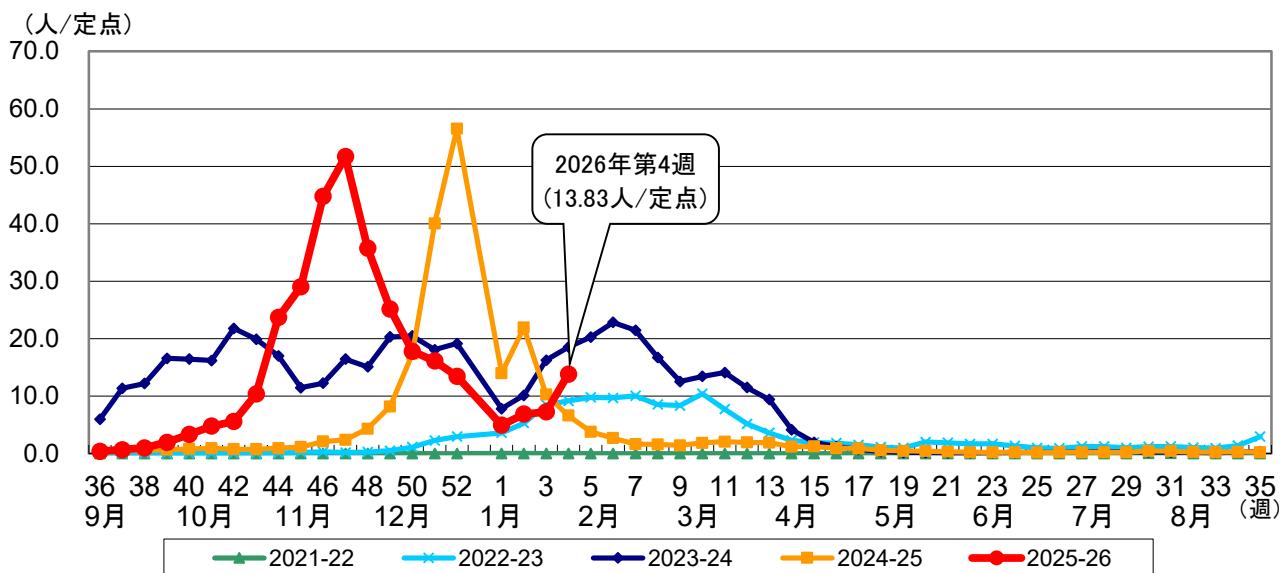


図1. 東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移

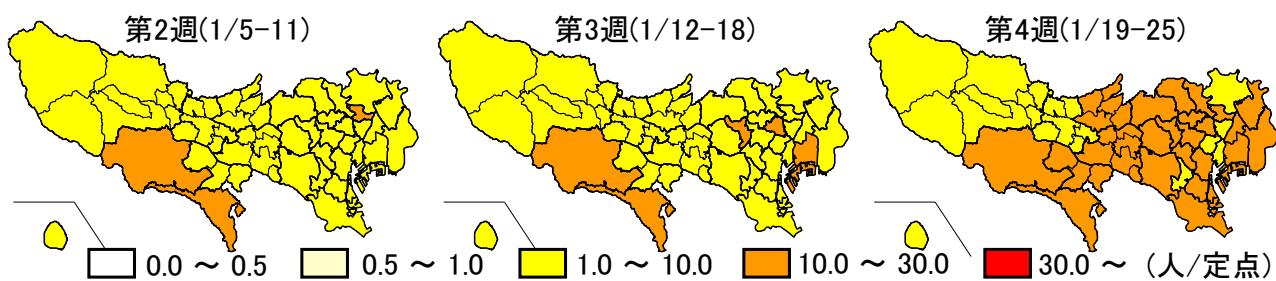


図2. 都内の保健所別定点当たり患者報告数(第2週～第4週)

### 1. 定点医療機関からの患者報告数

【東京都】 定点医療機関(急性呼吸器感染症定点)\*からの患者報告数は5,779人、定点当たり13.83人(前週：7.25人/定点)と、定点当たり患者報告数が「流行注意報基準」\*\*である10.00人を再び上回りました(図1)。

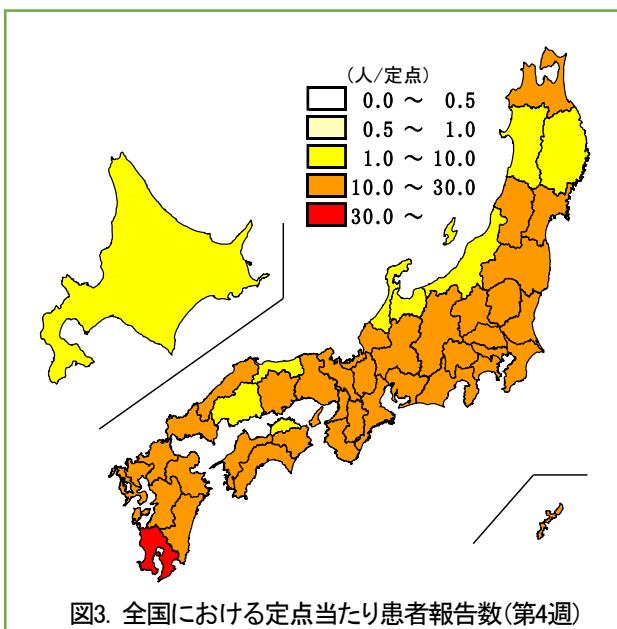
今後、さらなる流行拡大の可能性があるため、東京都では1月29日に“都内のインフルエンザ、再び注意報基準を超える”を報道発表し、インフルエンザの予防、拡大防止対策等について都民の皆様への注意喚起を行いました。

表1. 都内の保健所別定点当たり患者報告数

保健所名	定点当たりの患者報告数(人/定点)	保健所名	定点当たりの患者報告数(人/定点)
	第4週(1/19-1/25)		第4週(1/19-1/25)
千代田	5.50	北区	<b>18.09</b>
中央区	8.00	荒川区	<b>19.57</b>
みなと	<b>15.22</b>	板橋区	<b>10.69</b>
新宿区	<b>10.92</b>	練馬区	<b>13.43</b>
文京	<b>13.29</b>	足立	8.80
台東	8.86	葛飾区	<b>10.85</b>
墨田区	<b>12.13</b>	江戸川	<b>16.68</b>
江東区	<b>19.07</b>	八王子市	<b>24.56</b>
品川区	<b>10.50</b>	町田市	<b>25.38</b>
目黒区	10.00	西多摩	7.21
大田区	<b>12.24</b>	南多摩	<b>10.79</b>
世田谷	<b>14.04</b>	多摩立川	8.30
渋谷区	13.43	多摩府中	<b>14.39</b>
中野区	<b>23.20</b>	多摩小平	<b>12.57</b>
杉並	<b>14.88</b>	島しょ	3.50
池袋	19.13	都全体	<b>13.83</b>

定点当たり患者報告数が10.00人を上回ったのは、都内31保健所管内のうち23保健所管内でした(図2、表1)。

また、第4週に報告があった418定点医療機関のうち108定点(患者報告1,894人分)は、患者数とともに感染したウイルス型についても報告がありました。この報告によると、B型が約8割でした。



【全国】患者報告数は、63,326人、定点当たり16.64人(前週:11.33人/定点)でした。

定点当たりの患者報告数は、38都府県で10.00人を上回っています(図3)。また、東京都と隣接する4県の定点当たりの患者報告数

は、千葉県が23.80人、山梨県が22.23人、埼玉県が22.18人、神奈川県が18.24人でした。

## 2. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

集団発生報告は193件ありました。発生報告がされた施設の内訳は、小学校90件、中学校41件、保育所41件、高等学校10件、社会福祉施設7件、幼稚園2件、医療機関2件でした(図4)。

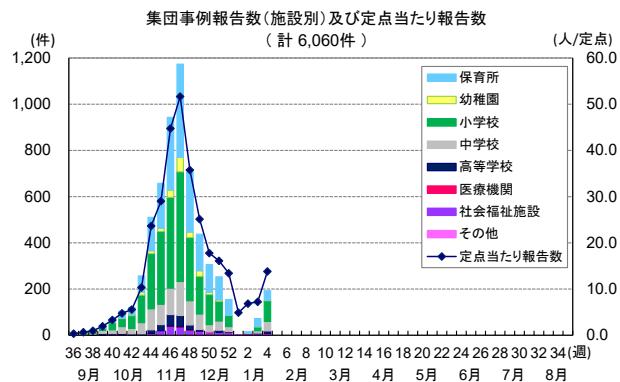


図4. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

## 3. インフルエンザによる入院患者報告数

定点医療機関(基幹定点)\*\*からインフルエンザによる入院患者報告は、37件ありました(図5)。

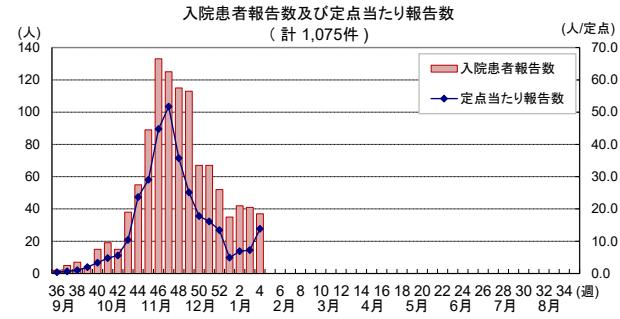


図5. インフルエンザによる入院患者の報告数

## 4. ウィルス検出状況

【東京都】第36週から第1週までに病原体定点医療機関\*\*\*で採取された992検体について検査を行った結果、インフルエンザウィルスが413件検出されています。検出されたウィルスの内訳は、AH3亜型が382件、B型が21件、AH1pdm09が10件でした(表2、図6)。この他、経鼻弱毒生ワクチン由来のワクチンタイプが6件検出されています。

表2. 定点医療機関により採取された検体の検査結果

検体採取週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1pdm09	AH3亜型	B型 Victoria 系統	B型 Yamagata 系統
36週(9/1-7)	41	1		1		
37週(9/8-14)	50	4		3	1	
38週(9/15-21)	55	8	2	5	1	
39週(9/22-28)	35	2		2		
40週(9/29-10/5)	57	14	2	12		
41週(10/6-12)	53	11		11		
42週(10/13-19)	58	16		14	2	
43週(10/20-26)	64	25	2	21	2	
44週(10/27-11/2)	65	27		26	1	
45週(11/3-9)	63	35	1	34		
46週(11/10-16)	60	29	1	27	1	
47週(11/17-23)	73	51	1	49	1	
48週(11/24-30)	61	41		41		
49週(12/1-7)	71	38		37	1	
50週(12/8-14)	68	37		37		
51週(12/15-21)	61	40		34	6	
52週(12/22-28)	54	33	1	27	5	
1週(12/29-1/4)	3	1		1		
2週(1/5-11)	検査中					
3週(1/12-18)	検査中					
合計	992	413	10	382	21	0

・インフルエンザ情報発行時点で検査結果が判明したものを掲載している。  
・この他、ワクチンタイプ(経鼻弱毒生ワクチン由来タイプ)が6件検出されている。

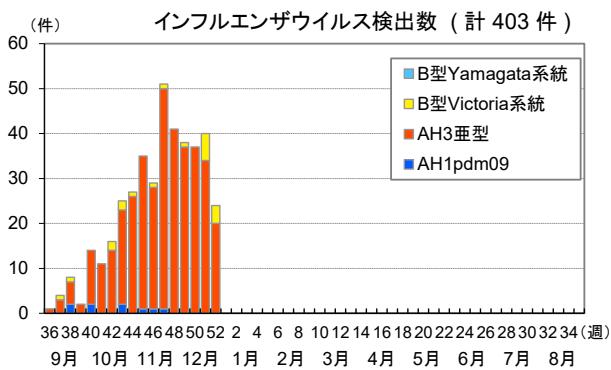
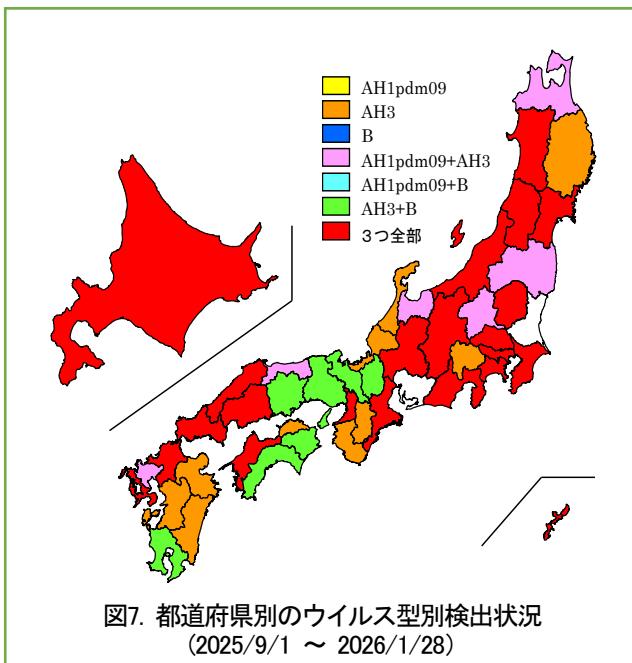


図6. 定点医療機関から搬入された検体における  
インフルエンザウイルス検出状況



【全 国】 国立健康危機管理研究機構発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、45都道府県からAH3亜型、29都道府県からB型、28都道府県からAH1pdm09の検出が報告されています(図7)。

#### \* 定点医療機関(急性呼吸器感染症定点)

インフルエンザ等の急性呼吸器感染症の患者数を把握するために指定された、小児科および内科の医療機関419か所

\*\* 定点医療機関(基幹定点) インフルエンザによる入院患者数を把握するために指定された、主に内科の医療機関25か所

\*\*\* 病原体定点医療機関 ウィルスの検出状況を把握するために指定された、定点医療機関41か所

※ 注意報・警報基準 インフルエンザの定点当たり患者報告数が10.00人/週を上回った場合には注意報が発出されます。30.00人/週を上回った場合には警報が発出され、10.00人/週を下回るまでの状態を「警報レベル」としています。

都においては、上記の基準に加えて、基準を超えた保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた時には、広域的に流行が発生・継続しているとして、注意報・警報が発出されます。



#### ◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆ 編集・発行

東京都健康安全研究センター  
企画調整部健康危機管理情報課  
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S1153803@section.metro.tokyo.jp

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>